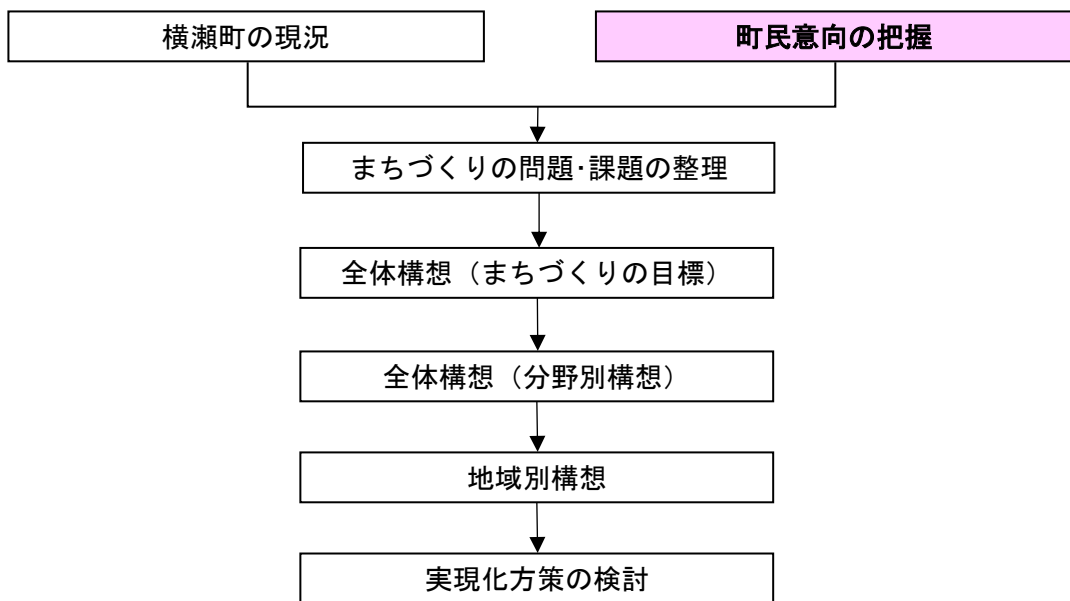


### 3 町民意向の把握

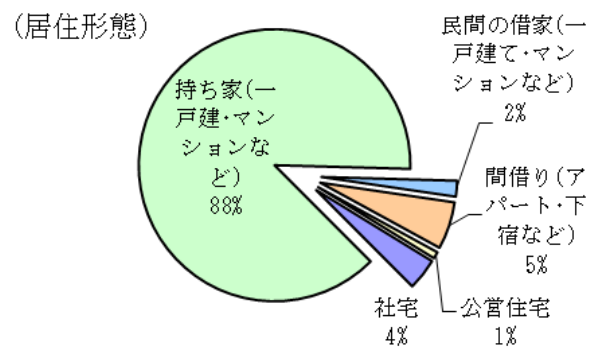
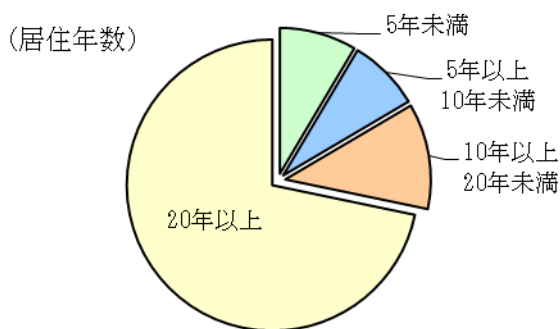
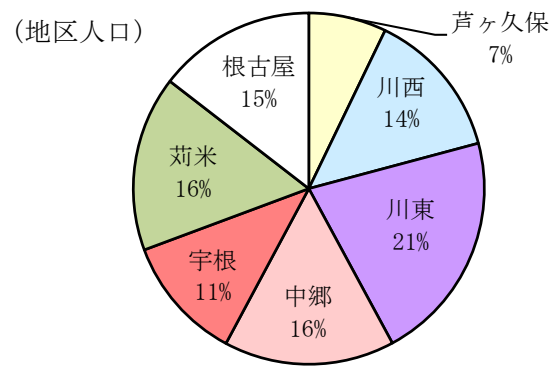
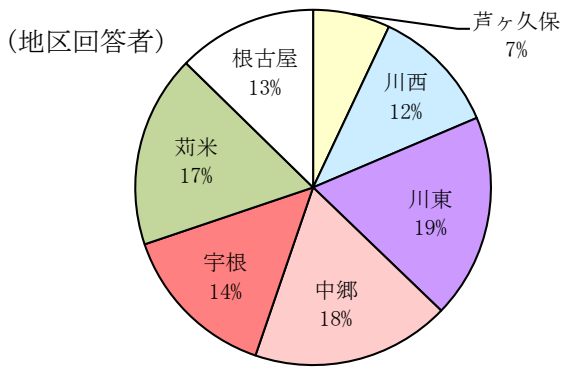
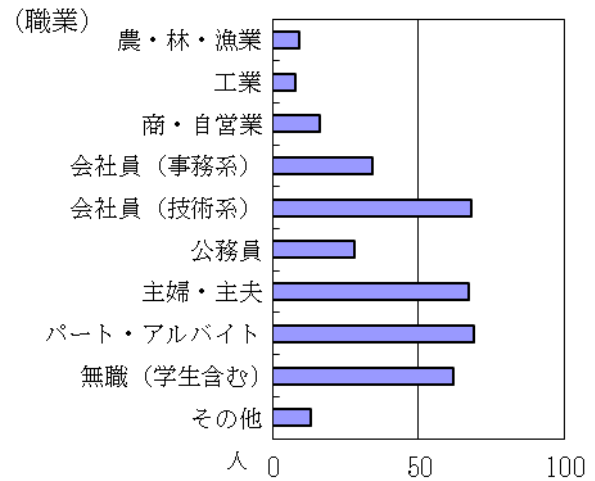
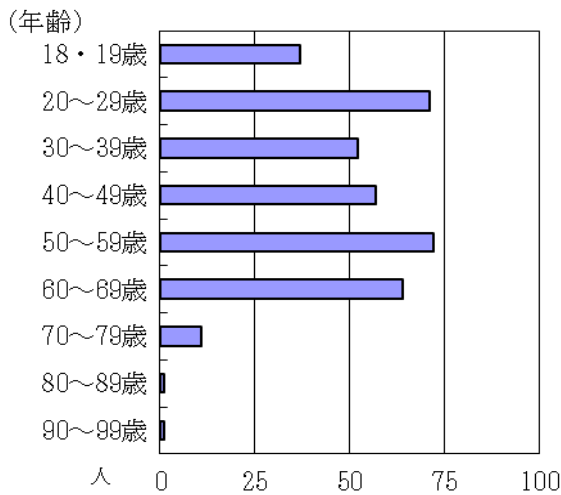


## 1. アンケート調査

### (1) アンケート調査の概要

町民意向の把握にあたって、第6次総合振興計画の策定時に実施した住民意識調査アンケート結果の中から土地利用等に係る町民意向を抽出、整理しました。

本アンケート調査では、町民1,000人を抽出して郵送方式により配布・回収し、377人の回答（回収率37.7%）を得ました。

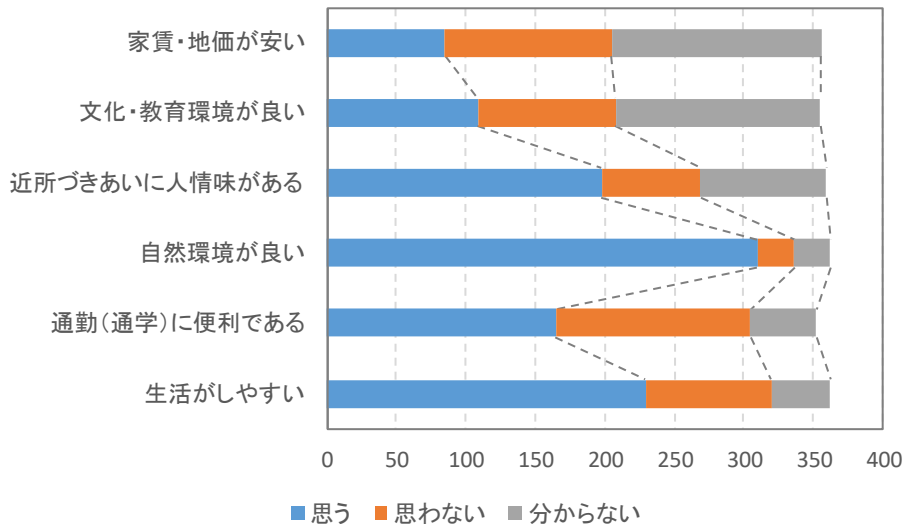


(2) アンケート調査結果における土地利用に関わる事項の比較

1) 「問9 あなたは横瀬町に住んでいて、どのように思いますか。(現在)」について

「自然環境が良い」、「生活がしやすい」、「近所づきあいに人情味がある」の順に回答が多くなっています。

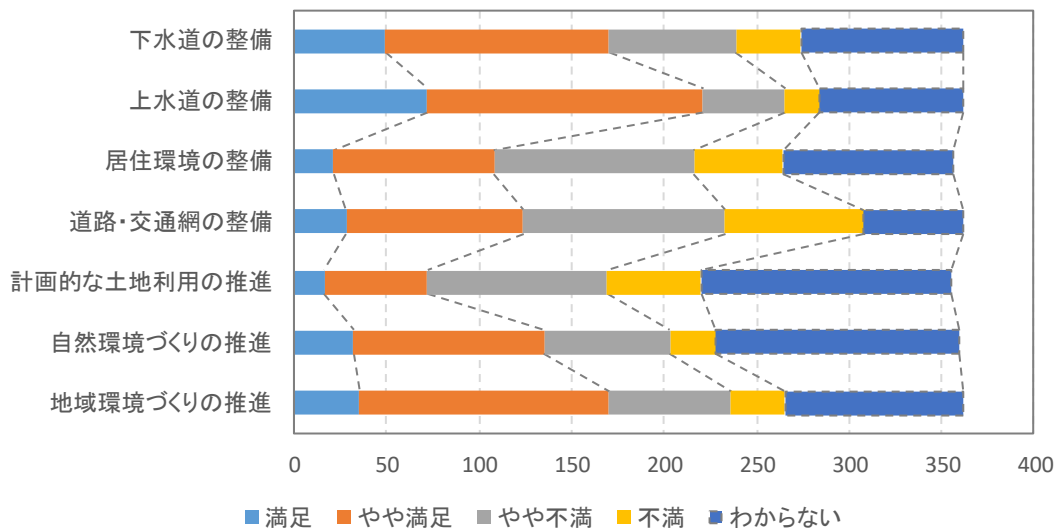
逆に「家賃・地価」、「文化・教育環境」には不満（良いと思わない）が多くなっています。



2) 「問11 あなたは次の取り組みについて、どの程度満足していますか。」について

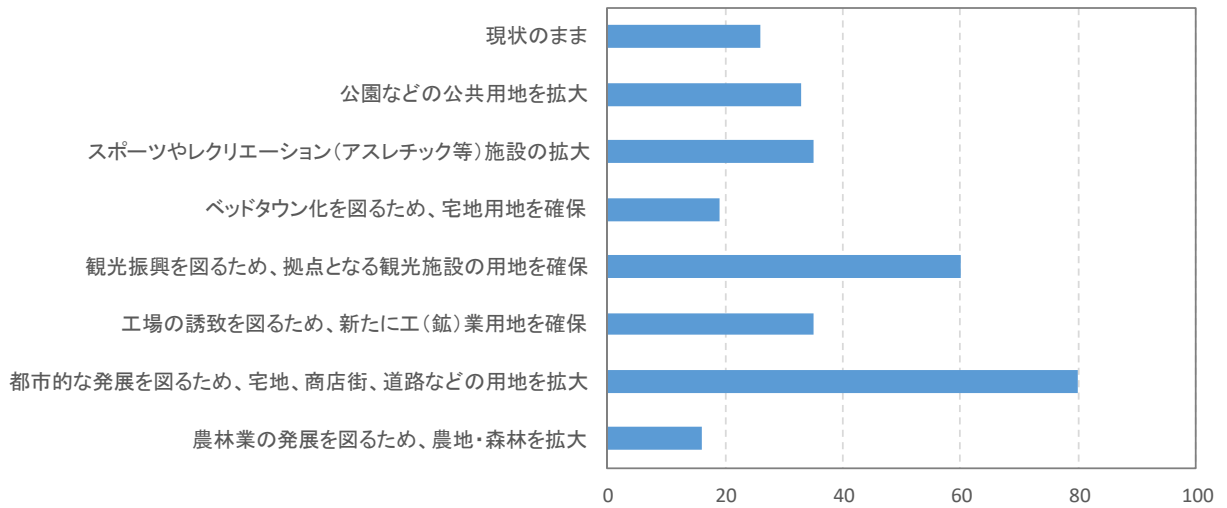
「上水道の整備」、「下水道の整備」、「地域環境づくりの推進」には概ね満足となっています。

「道路・交通網の整備」、「計画的な土地利用の推進」、「居住環境の整備」には不満が多くなっています。



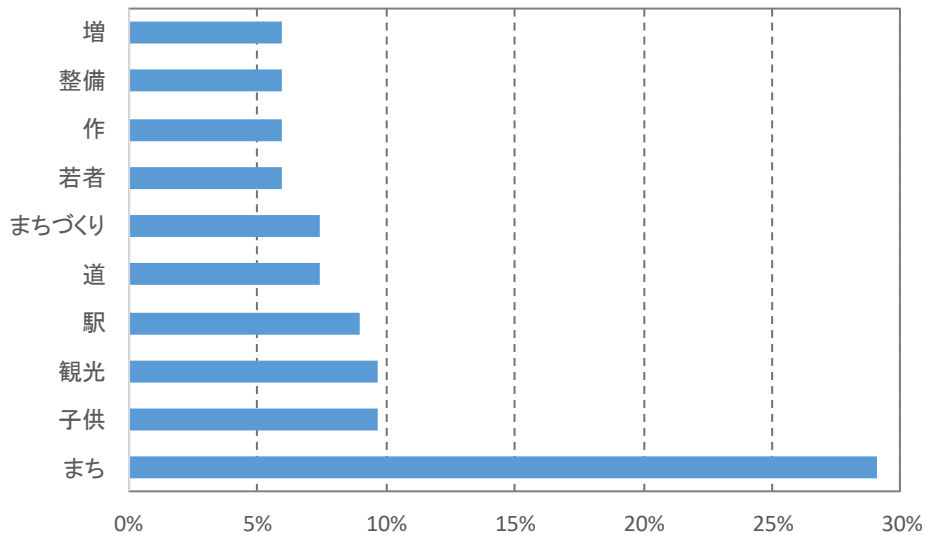
3) 「問 22 あなたは、これからの横瀬町の土地の利用について、どうお考えですか。」について

「都市的な発展を図るため、宅地、商店街、道路などの用地を拡大」と「観光振興を図るため、拠点となる観光施設の用地を確保」の土地利用に回答が多くなっています。



4) 「問 26 横瀬町の今後のまちづくりについて」

自由回答欄での頻出単語ランキングをみると、「まち」が特に多く、次いで「子供」、「観光」、「駅」といった単語が多くなっています。



## 2. まちなか再生支援事業のヒアリング結果

横瀬駅から町役場、町民会館などの公的機関を中心とした区域を事業の対象区域とし、町民等の約 90 人へのヒアリング、合計 5 回にわたるワークショップ(\*)と町民説明会を経て、今後のまちなか再生に向けたアクションプランの作成が平成 30 年度(2018 年度)に行われました。以下にそのヒアリング・ワークショップ結果から都市計画に関連する事項の概要を示します。

\*ワークショップ: まちづくりにおいて、地域の居住者、従業者、各種団体・企業関係者などさまざまな立場の人々が参加、体験を通じて、地域社会の課題の抽出や課題解決に向けた改善計画の立案を行う共同作業。

表 平成 30 年度(2018 年度)まちなか再生支援事業 調査結果のまとめ

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代にとっての場の不足・コミュニティ不足</li> <li>・来街者、訪れた人への機能・サービス不足</li> <li>・歩きやすい街・回遊性の高いまちなかになっていない</li> </ul>
強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>①都心からのアクセス性</li> <li>②まちなか施設が集積・コンパクトさ(町有地、町の施設の活用可能性)</li> <li>③自治体の実現のスピード感・巻き込み力の高さ</li> </ul>
基本方針	<p>横瀬ならではの人の交わり・滞留を生み出すオープン and フレンドリーなまちなか作り —創発型・ボトムアップ型のまちなか再生—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①来街者の居場所、住民を含めたコミュニティ創出 (旧 JA 直売所、旧給食センター、兎沢町有地)</li> <li>②多世代教育・多様性を育む場づくりの発展的展開 (よこらば、はたらクラスの発展、小学校の将来像)</li> <li>③横瀬駅からのコンパクトな回遊動線作り、回遊性の向上 (新しい駅前姿、街並み作り)</li> </ul>
目指す姿	また来たい、住んでみたい、住み続けたい横瀬町を多様な仲間とともにつくりあげる。

図 テーマごとの現状とあるべき姿(平成 30 年度(2018 年度)まちなか再生支援事業ヒアリング・ワークショップ結果より抜粋)

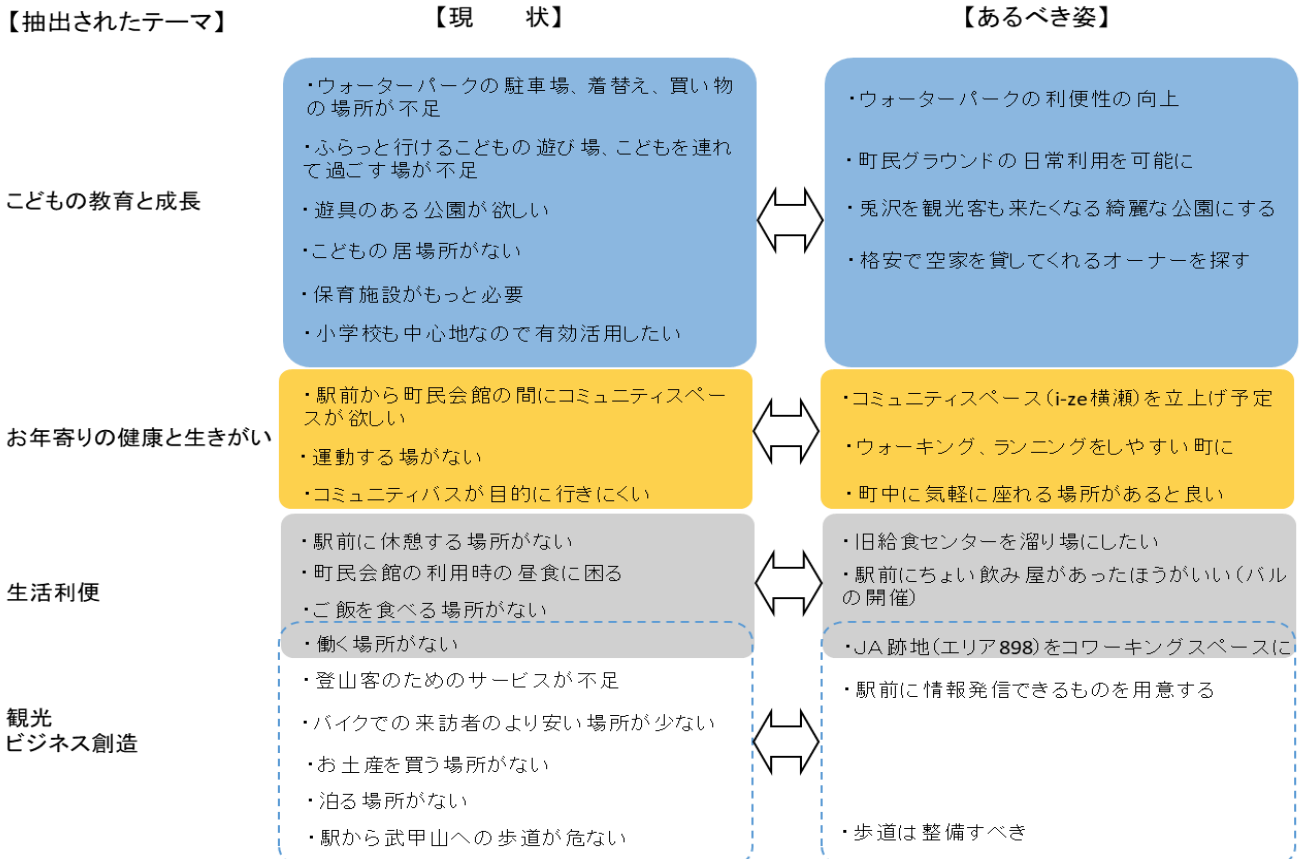




図 拠点の位置と拠点ごとの課題（平成 30 年度(2018 年度) まちなか再生支援事業ヒアリング・ワークショップ結果より）

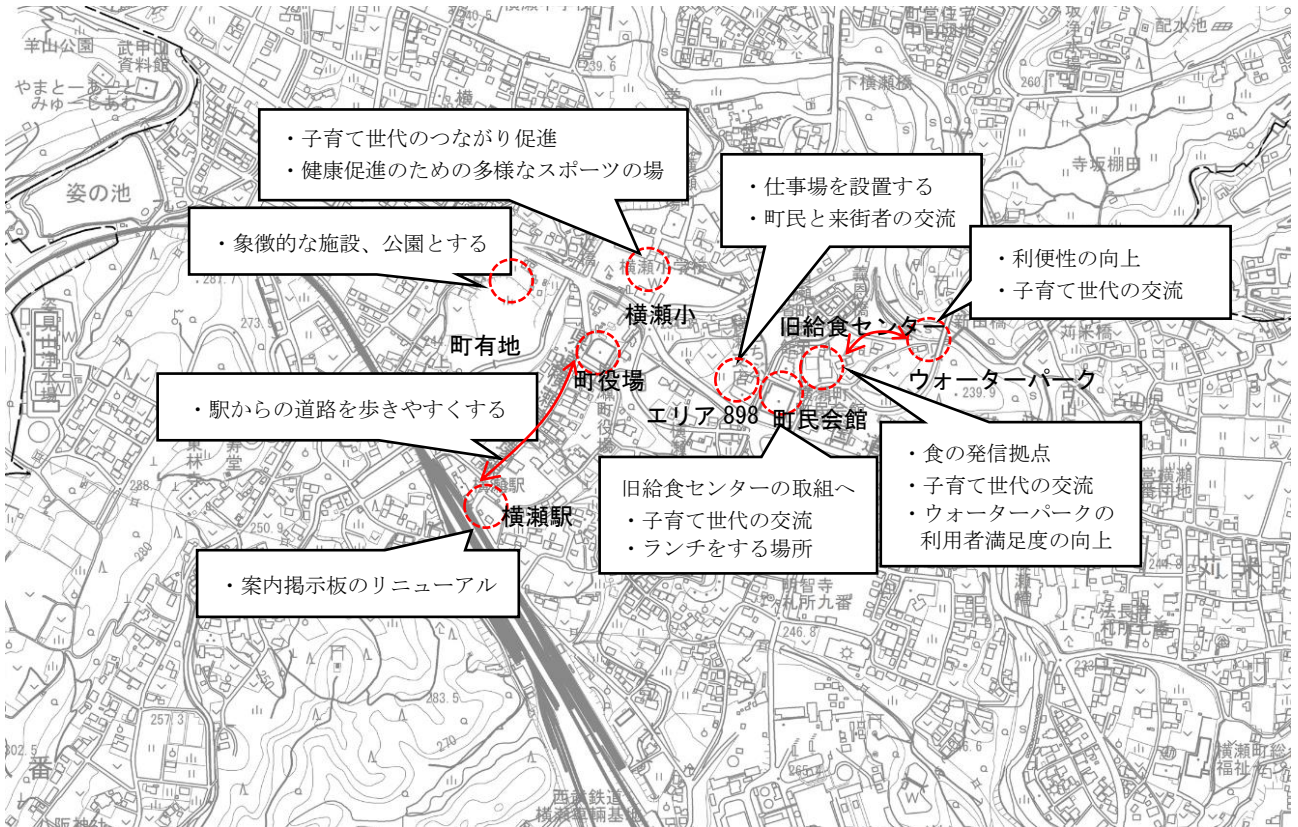
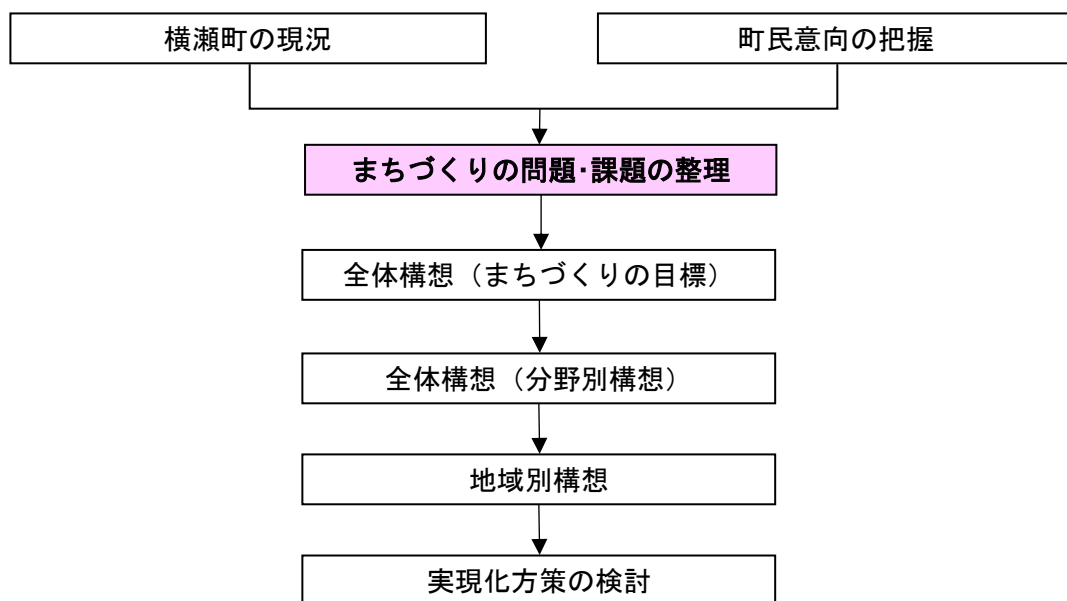


図 まちづくりプラン



## 4 まちづくりの問題・課題の整理



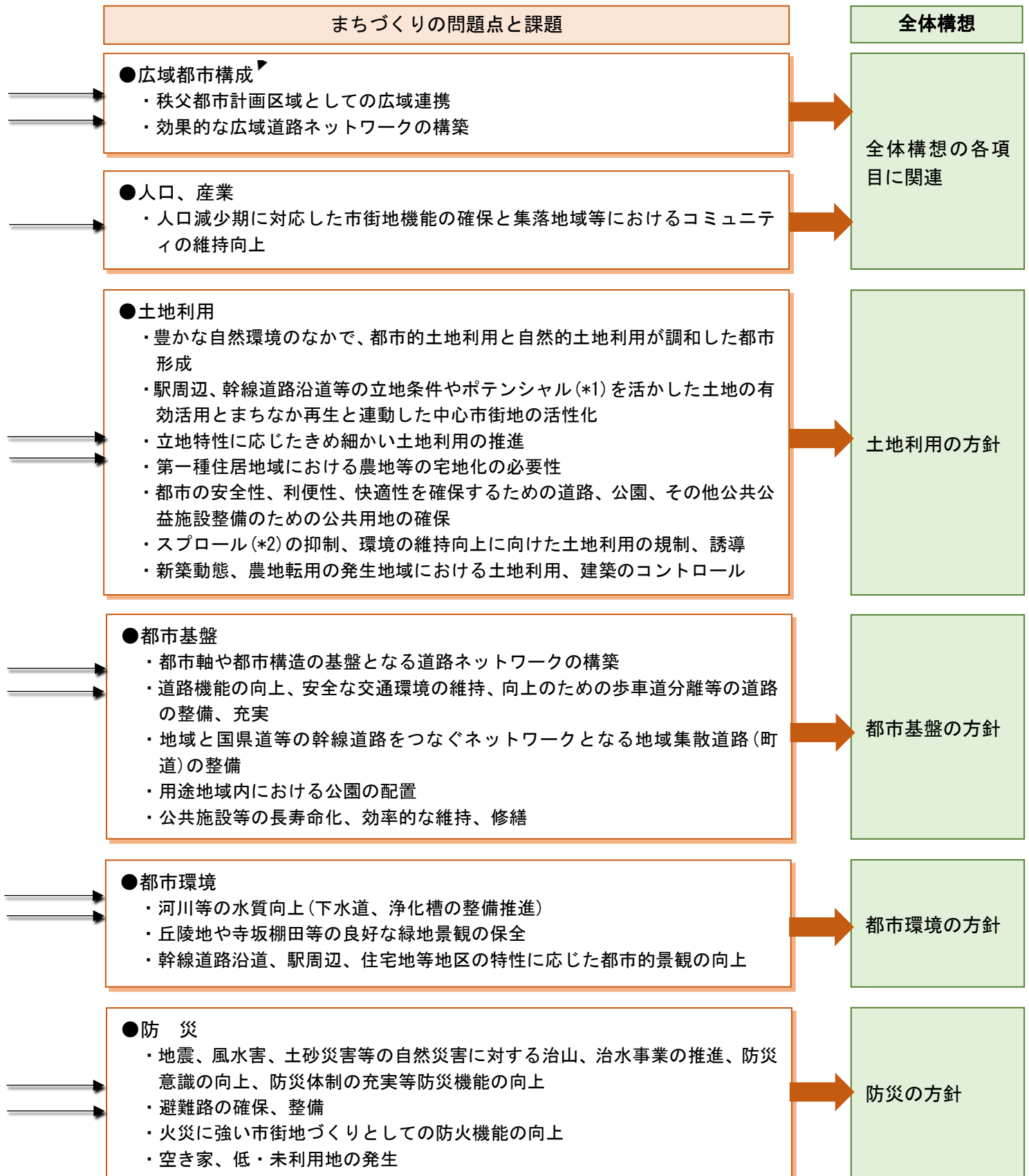


## 1. まちづくりの問題点と課題

表 本町の現況、まちづくりの問題点と課題

現 況
<p>●<b>広域位置づけ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秩父都市計画区域(横瀬町、秩父市、皆野町)の一角</li> <li>・県西部、東京都から秩父地域の玄関口</li> <li>・秩父定住自立圏による広域連携強化</li> </ul>
<p>●<b>人口、産業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総人口は平成7年(1995年)以降減少に転じ、急速に少子高齢化が進行中</li> <li>・用途地域人口はほぼ横ばいであり、一定の人口集積を保っている</li> <li>・就業者数、従業者数は人口減少に伴って減少傾向にあり、地域の産業特性として、県平均と比較すると第2次産業就業者の比率が高い</li> <li>・農業は農家数、耕地面積は減少。遊休農地は増加</li> <li>・工業は事業所数、従業者数は減少しているが、製造品出荷額は増加</li> <li>・商業は事業所数、従業者数、年間商品販売額ともに減少</li> </ul>
<p>●<b>土地利用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用途地域内は、都市的土地利用が7割、その反面農地や山林等も点在</li> <li>・用途地域内では、一般的な市街地に比べ道路用地の割合が低い</li> <li>・用途地域外は、農地、山林が半分以上を占め、都市的土地利用は4割程度</li> <li>・新築動態、農地転用は、中郷、川東、川西地区で多く発生</li> <li>・都市計画区域内の土地利用規制は、横瀬駅周辺に用途地域(第一種住居地域、工業地域)63haが指定され、その他農業振興地域・農用地区域、保安林、県立自然公園地域が指定</li> </ul>
<p>●<b>都市基盤</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画区域内の道路は、国道299号、県道2路線で都市軸を形成。交通量は国道が増加、県道熊谷小川秩父線は変化なし、県道横瀬停車場線は減少</li> <li>・市街地交通に対応した道路が少ない。国・県・町道とも歩道整備が不十分</li> <li>・広域道路網として西関東連絡道路が整備中</li> <li>・公共交通は、西武鉄道西武秩父線、西武観光バス、予約型乗合タクシーで構成されている</li> <li>・横瀬駅の乗車人員は減少傾向。バス路線は運行本数が少ない</li> <li>・都市公園は1箇所、市街地に公園が未設置</li> <li>・下水道は特定環境保全公共下水道が約80%整備済</li> <li>・その他の都市施設として、町役場等の公共施設、公会堂等のコミュニティ施設、学校等の文教厚生施設</li> </ul>
<p>●<b>都市環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画区域外周部の丘陵地の緑、河川による豊かな水辺、農地の緑など自然環境が豊富</li> <li>・景観は武甲山、横瀬川、寺坂棚田に代表される豊かな自然景観、札所等の歴史文化景観、駅前やセメント工場などの都市景観で構成</li> <li>・横瀬川の水質は、県の環境基準以下。下水道、浄化槽整備等の効果もあり、その他の河川でも改善傾向</li> </ul>
<p>●<b>防 災</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町全体の80%を山林が占め、土石流、地すべり、崖崩れといった災害の発生するおそれのある箇所が多数存在。併せて、土砂災害防止法による区域指定も複数箇所ある</li> <li>・国道299号が第1次緊急輸送道路に位置づけられている</li> <li>・横瀬川沿いに浸水想定区域、また、ため池(姿の池)決壊による浸水想定区域がある</li> </ul>
<p>●<b>町民意向</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境の良さや生活しやすさに満足。道路・交通網の整備に不満</li> <li>・都市的な発展を望む一方で、豊かな自然を活用した観光振興に要望がある</li> <li>・まちなか再生支援事業のヒアリングでは、子育て世代の交流の場の不足、来街者対応機能の不足、回遊性の確保が課題とされた</li> </ul>





\*1 ポテンシャル：その地区や都市が有する潜在的な能力。

\*2 スプロール：都市の郊外部や市街地の周辺で無秩序に拡散する宅地化現象。